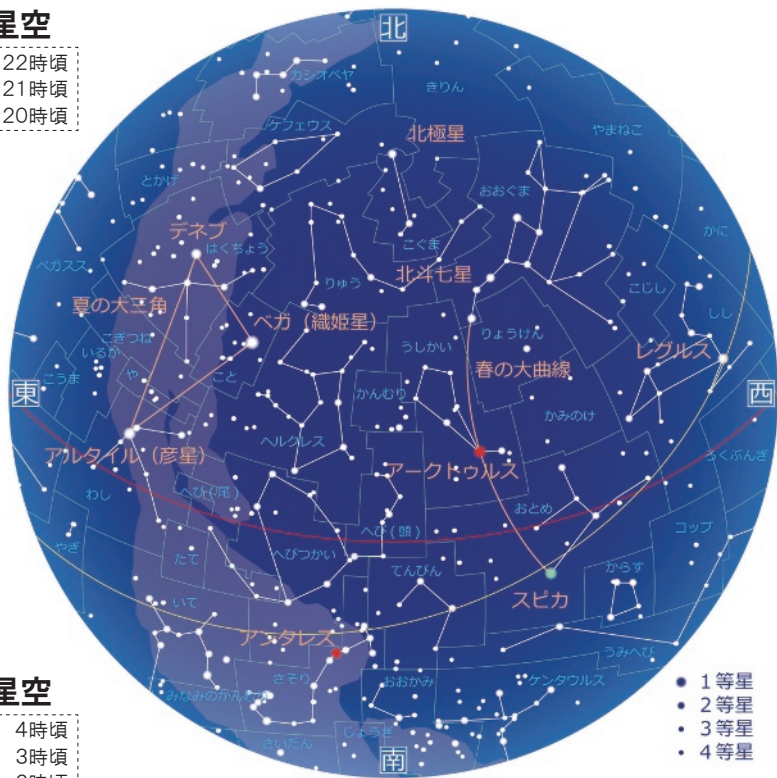


星空ガイド 6月16日～7月15日

よいの星空

6月16日22時頃
7月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

6月16日 4時頃
7月 1日 3時頃
15日 2時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	木	4:44	19:13	21:27	6:02	16.6
	21	火	4:45	19:14	0:05	11:53	21.6
	26	日	4:46	19:15	2:25	16:52	26.6
7	1	金	4:48	19:15	6:14	21:06	2.0
	6	水	4:50	19:14	11:09	23:34	7.0
	11	月	4:53	19:13	16:47	1:46	12.0
	15	金	4:55	19:11	20:52	6:04	16.0

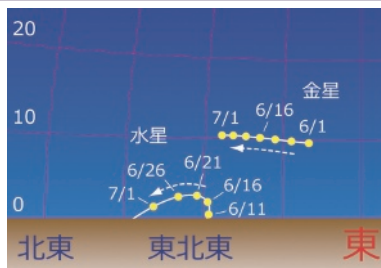
※惑星は2022年7月1日の位置です。

水星が西方最大離角

先月、夕方の空に見えた水星が、今度は太陽の反対側に回って、6月中旬ごろから明け方の空に見えるようになります。6月16日に西方最大離角となり、太陽から最も西側に離れます。この日の前後は、日の出前に水星が観察しやすい時期となります。

それでも水星の地平線からの高さは、日の出1時間前で10度以下とかなり低く、見つけるのは大変です。時間が経つと高度は上がりますが、

その代わりに辺りがどんどん明るくなるので、ますます見つけにくくなります。近くに明るい金星が見えていますので、それを目印にするといいでしょう。



水星と金星の位置(日の出1時間前:大阪)

今年一番大きな満月

7月14日は満月です。この満月は、今年一番大きく見える満月です。いつも同じように見える月ですが、実は月と地球の距離は少し変化するため、見かけの大きさもいくぶん変化します。写真で比べて見るとずいぶん大きさが違うことが分かります。今年一番小さく見えた満月は、1月18日の満月でした(写真は前日の月)。昨年が一番大きかった満月と比べてみると、面積で2割ほども違うことが分かります。今月はいつもよりちょっと大きな月にご注目ください。



月の大きさ比較

江越 航(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
6	16	木	水星が西方最大離角
	21	火	●下弦(21時)/夏至(太陽黄経90°)
	22	水	明空に月と木星がならぶ
	23	木	明空に月と火星がならぶ/火星食(日本では見えない)
	25	土	月と天王星が接近
	26	日	明空に月と金星がならぶ
	28	火	明空の低空に月と水星がならぶ
	29	水	●新月(12時)/月が今年最遠(406,580km)

月	日	曜	主な天文現象など
7	2	土	半夏生(太陽黄経100°)
	4	月	地球が遠日点通過/変光星しし座R(4.4~11.3等)が極大のころ
	7	木	●上弦(11時)/七夕/小暑(太陽黄経105°)/月とスピカがならぶ
	10	日	さそり座デルタ星の食(22時5分~23時22分、2.3等)
	13	水	月が今年最近(357,264km)
	14	木	○満月(4時)